

令和7年度角田市市民提案型まちづくり事業企画提案書

令和7年●月●日

角田市長 殿

団体所在地 角田市角田字大坊41番地

団体名 角田デジタルまちづくり

代表者名 角田 太郎

(電話番号 090 — 9999 — 9999)

令和7年度角田市市民提案型まちづくり事業補助金の交付を受けたいので、角田市市民提案型まちづくり事業補助金交付要綱第8条の規定により、関係書類を添えて提出します。

1. 事業名	(例) 誰でも簡単にできるSNS利活用講座	
2. 事業の背景	(地域課題・行政課題等を具体的に記述) デジタルに触れる機会が少ない方向けに、SNSなどの利活用方法を教えることで、デジタルに触れる機会を増やす。	
3. 事業の目的	(解決策や目標も具体的に記述) デジタルに触れる機会が少ない方がデジタルに触れる機会を増やすことで、誰一人取り残さないデジタル社会を目指す。	
4. 事業の概要	デジタルに触れる機会が少ない方へ、SNS(LINE、Instagram、Twitter、YouTube等)のアカウント登録や閲覧方法、記事の投稿方法を教える。	
5. 総事業費及び補助金	(例) 375,000円 (A)	左記のうち、補助金(A×4/5) ※千円未満切捨て、上限100万円 (例) 300,000円
6. 事業実施期間	令和7年 9月 ●日 ~ 令和8年 2月 ●日	

※企画提案書及び添付書類に関しては、原則公開の対象とします。

市処理欄(申請に必要な書類の一覧です。この欄は記入しないで下さい。)

事業計画書(事業概要、位置図、見取図、事業フロー図等)

事業収支予算書(見積書等写し含む)

その他市長が必要と認める書類 ()

※記述欄が不足する場合は、別紙にて記述してください。

事業計画書

【団体名：角田デジタルまちづくり】

事業名	(例) 誰でも簡単にできるSNS利活用講座	
事業の背景	(地域課題・行政課題等を具体的に記述) デジタルに触れる機会が少ない方向けに、SNSなどの利活用方法を教えることで、デジタルに触れる機会を増やす。	
事業の目的	(解決策や目標も具体的に記述) デジタルに触れる機会が少ない方がデジタルに触れる機会を増やすことで、誰一人取り残さないデジタル社会を目指す。	
事業内容 (活動内容とスケジュール)	(活動名には、会議、勉強会、講演会、シンポジウム、フォーラム、イベント、調査・研究など、予定している活動及び内容を記述)	
	活動名	内容 (対象者、実施体制、場所、時期など)
	事前協議 広報活動 打ち合わせ イベント実施① イベント実施②	9月●日 イベントに関する事前協議 (市民センター) 9月●日 チラシ・ポスター印刷発注、市HP掲載依頼 10月●日 スタッフとのイベント打ち合わせ (市民センター) チラシ・ポスター配布 12月●日 イベント実施 (市民センター) 2月●日 イベント実施 (市民センター)
事業の公益性 または 社会貢献性	(事業内容の公益性、発展性、継続性、社会貢献性などについて記述) ※事業を行うことによる成果や、今後の事業の発展性等について記入してください	
事業成果	(提案事業の実施による効果と得られる成果について記述) ※計画時点で得られると思う効果や成果について記入してください	
その他 (提案団体の アピール等)	※自由記述です。団体の活動内容や活動実績、アピールポイント等を記入してください。	

※記述欄が不足する場合は、別紙にて記述してください。

事業収支予算書

【団体名：角田デジタルまちづくり】

事業名	(例) 誰でも簡単にできるSNS利活用講座
-----	-----------------------

単位：円

科目		予算額	積算内訳
収入	本補助金額 (a)	300,000	
	会費等の自己資金	55,000	
	事業収入等	20,000	参加費@500×20人×2回
	その他の収入		
	合計	375,000	
支出	補助対象経費	報償費	100,000 講師謝礼 (50,000×1人×2回)
		旅費	20,000 講師旅費 (10,000×2回)
		需用費	150,000 消耗品、チラシ等印刷代
		役務費	20,000 郵便料
		使用料	30,000 会場使用料 (15,000×2回)
		人件費	55,000 当日スタッフ (5,500×5人×2回)
		備品購入費	
		その他の経費	
		小計 (b)	375,000
	対象外経費		
小計			
合計		375,000	

※本補助金額(a)は、補助対象経費小計(b)の5分の4(80%)となります。上限額は、100万円とし、1,000円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てます。

※積算内訳欄にそれぞれの科目ごとの品名又は使途と積算内訳(記載例：講師謝金2人×@1,000円等)を記入してください。

※出来るだけ積算の根拠となる見積書等の写しを添付してください。

年度角田市市民提案型まちづくり事業変更承認申請書

令和 年 ●月 ●日

角田市長 殿

団体所在地 角田市角田字大坊 41 番地
団体名 角田デジタルまちづくり
代表者名 角田 太郎
(電話番号 090 - 9999 - 9999)

令和7年●月●日付け角田市指令第●号で交付決定のあった標記事業について、下記のとおり変更したいので、角田市市民提案型まちづくり事業補助金交付要綱第12条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1. 事業名	(例) 誰でも簡単にできるSNS利活用講座
2. 変更の理由	当初は講座を2回行う予定だったが、講師の予定を押さえられず、1回だけの講座となってしまったため。
3. 変更の内容	補助対象経費の変更 期間の変更
4. 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業収支変更予算書 <input checked="" type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類

事業収支変更予算書

【団体名：角田デジタルまちづくり】

事業名	(例) 誰でも簡単にできるSNS利活用講座
-----	-----------------------

単位：円

科目		変更前予算額	変更後予算額	変更内容	
収入	本補助金額 (a)	300,000	210,000		
	会費等の自己資金	55,000	42,500		
	事業収入等	20,000	10,000	参加費@500×20人×1回	
	その他の収入				
	合計	375,000	262,500		
支出	補助対象経費	報償費	100,000	50,000	講師謝礼(50,000×1人×1回)
		旅費	20,000	10,000	講師旅費(10,000×1回)
		需用費	150,000	150,000	
		役務費	20,000	20,000	
		使用料	30,000	15,000	会場使用料(15,000×1回)
		人件費	55,000	27,500	当日スタッフ(5,500×5人×1回)
		備品購入費			
		その他の経費			
		小計(b)	375,000	262,500	
	対象外経費				
小計					
合計		375,000	262,500		

※本補助金額(a)は、補助対象経費小計(b)の5分の4(80%)となります。上限額は、100万円とし、1,000円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てます。

※積算内訳欄にそれぞれの科目ごとの品名又は使途と積算内訳(記載例：講師謝金2人×@1,000円等)を記入してください。

※出来るだけ積算の根拠となる見積書等の写しを添付してください。